

Oh!Me



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.293・11月12日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部



平成20年「滋賀県社会福祉協議会会長賞」受賞
子どもたちに「おはなし」の面白さ伝える

おはなし会 ピッコロロ 代表
まつき きみこ
松木 公子さん
(64歳・湖南市在住)



旧石部町を中心に、子どもたちに絵本を読み聞かせてきた、おはなし会「ピッコロロ」の代表松木公子さんが今回の素敵な人。石部保育園で行われた「おはなし会」にお邪魔し、インタビューさせてもらった。

一時期は失明も覚悟

子どものころから本を読むことが大好きだった松木さんだが、一時期、目の病気に掛かり失明を覚悟したこともあった。「大好きな本が読めなくなるつらさを想像し、目が治ったら朗読のボランティアをしよう」と、その時に決意した。

幸い松木さんは失明を免れた。そして、病気の時に決意したボランティア活動を実行に移すべく、早速、朗読研修会へ参加。92(平成4)年から朗読奉仕員として活動を開始した。



視覚障害者センターでの小説の音訳や、広報などの音訳、コンサート会場での朗読など、幅広く活動した。

おはなし会「ピッコロロ」の活動に感銘を受ける

松木さんがおはなし会ピッコロロに出会ったのは今から20年前。同会は元小学校教諭の船原道さんが中心になって始めた。当時、旧石部町に図書館はなく、自転車に本を積んで集会所を回って絵本を読み聞かせていた。当時のメンバーである松谷伸子さんは「坂の多い石部

素敵な人

の町を自転車で回るのは大変でした」と昔を振り返る。やがて90(平成2)年、石部図書館が開館したことに伴い、毎月1回おはなし会を開くようになった。こんな経緯の中、松木さんはピッコロロの活動に感銘を受け、メンバーに加わるようになった。「淡々と読む朗読と違い、子どもたちに語りかけるわけですから、最初は戸惑いました」と言うが、子どもたちの喜ぶ顔を見て、強くやりがいを感じ始めるようになった。

突然、大黒柱を失う

ところが、それまで約30年も活動を続けてきた代表の船原さんが06(平成18)年、病気のため急逝。ピッコロロは危機に立たされた。「それまで先生に頼ってばかりいましたので、訃報を聞いたときは途方に暮れました。同時にピッコロロをここで

終わらせるわけにはいかないと思いました。自らが代表になって会を引き継ぐことになり、創立者の意思でもあった平和の尊さを訴え続けていくことになった。

想像力と集中力を養ってほしい

07(平成19)年、ピッコロロは長年の活動が認められ、「滋賀県社会福祉協議会会長賞」を受賞し、松木さん個人も、翌08(平成20)年、同賞を受賞した。おはなし会ピッコロロの魅力について松木さんは、「耳だけで情報をキャッチしますから、想像力と集中力が養えます」と話す。



小さい子どもは、お話だけでは集中できないので、人形劇や折り紙を交えるような工夫もしている。テレビなどの影響もあり、おはなし会への参加者は決して増える傾向にあるとは言えないのだが、これからもこの活動に頑張っていたきたいと強く願い、インタビューを終えた。

(取材・福本) 詳しくは www.gaido.jp/2931



元気だった船原さん(左)との思い出の写真。中央が松木さん、右が松谷さん=2001年ごろ

おはなし会ピッコロロへの問い合わせ
湖南市立石部図書館
●TEL:0748-77-6252

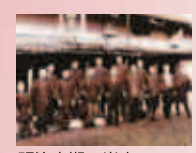
滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みは
0120-468-012



お墓選びは一生に一度のこと

大切なものをお作りするのですから信頼できる業者をお選び下さい。

確かな品質、安心価格、責任施行



明治中期の当店



創業文政十二年

彦根 **松居石村商店**

TEL.0749-22-0093 FAX.0749-22-0093
〒522-0071 彦根市元町1-65(護国神社前)